

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ポピンズナーサリースクール桜新町
施設所在地	東京都世田谷区桜新町2-8-1 世田谷目黒農協ビル4階
法人名	株式会社ポピンズエデュケア

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由> ※①②両方について記載

①テーマの設定に活かした園の環境や強み

保育室がオープンで異年齢交流が活発なため、0、1歳児クラスの子どもたちがおもちゃを鳴らしたり声を出したり音があふれている環境を活かした

②設定したテーマに子供の興味関心があると判断した理由

日々の保育生活であふれている音に興味を示し、音が鳴ると身体を動かしたり歌を歌ったりする姿が多く見られたため

## 2. 活動スケジュール

7月：音さがし

8月：ゼラチンと寒天の音

9月：世界の楽器を知る

10月：楽器作り

11月：手作り楽器で演奏

12月：クリスマス会での演奏

1月：ミュージカル

2月：発表会で声を届ける

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

講師の説明がわかりやすいようにスクリーンとプロジェクターをセッティングし、子供たちもいっしょに演奏するための楽器も用意した

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

身近な音さがしから始まり、いろんな音に興味を持ったので身近な音以外にも世界の様々な国の楽器に触れるアクティビティを実施したり、英語を交えた音楽プログラムに参加し、プロのミュージカル講師のパフォーマンスを間近で見て子供たちも一緒に歌ったり踊ったりした。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

身近な音から世界が広がり、外国の見たこともない楽器や音楽に触れて目をキラキラさせながらリズムや音に体を揺らしたり、一緒に演奏するときにはそれぞれいろんな楽器で自分を表現していた。保育者は子供たちが自由に表現できるように声がけをし、子供たちが主体的に活動できるように促した。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

身近な音探しでは保育者の問いかけやきっかけをつくることで、普段は特段意識をしていなかった音に対して関心を持ち、声に出したり反応を示す様子を見て、子どもたちの感覚がとても鋭敏であることに驚いた。

楽器に触れ、手作りすることで「どんな音？」と自ら音を表現しようとしたり、耳を澄まして音を聞く事から、音楽を奏でたり歌うことへの興味が一層広がったように感じる。